

付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（信州大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

前期の講義による授業は、e-learning を活用した授業のみとしたが、動画配信用ストレージの追加などシステムの増強を行った。後期については、原則として、受講者が100人を超える講義・演習については、オンライン授業を活用することとし、その他の授業については、身体的距離を保つことができる教室等にシフトするなどの工夫のうえ対面授業を実施している。

実験・実習等については、前期後期ともに、グループを分割し実施時期をずらすなど、身体的距離を保つ工夫をして対面授業を実施している。

学生教職員とも、教室等ではマスクの着用を義務付けた。共有した物(マイク,情報機器等)や多くの手が触れる場所(テーブル,ドアノブ等)は毎日消毒をしている。可能であれば常時窓、扉を開放し、少なくとも1時間おきに換気をしている(10分以上2方向)。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

自宅等の通信環境が整わない学生には、図書館及び所属学部の特設教室でのWi-Fi利用を可能にした。

新型コロナウイルスによる社会の変動が学生に与える長期的な影響を考え、信州大学知の森基金を活用した経済支援を実施している。

学生寮において、新型コロナウイルス感染防止に関する勉強会を開催するなど、感染対策を講じ、学生寮内での感染防止を図った。

課外活動が新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら行えるよう、活動団体に対し「課外活動再開の目安」、「感染対策に関する教育教材」を作成、提供し、各団体において作成した感染防止対策を大学が確認することにより、活動を順次再開できるよう支援した。